

上高地夏至の日のころ



日本計量新報

計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社

東京都千代田区神田錦町 3-11-8
(武蔵野ビル)
〒101-0054 TEL 03-3295-7871
FAX 03-3295-7874
http://www.keiryu-keisoku.co.jp/
振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円 (消費税別)

新年特集

新日本百景 自然歳時記

夏至のころ、太陽はいつでも空にある。夜は8時まで明るいし、午前3時には空が明るくなる。春の遅い上高地は夏至のころには新緑を広げる。清冽な梓川の水はすくってみたいほどの親近感をもつ。ズミ(小梨)のほのかに赤い花は終わっていて夏の高山植物の準備期間である。

日本の気候は緯度と地軸によってもたらされる。緯度は北緯 35 度 39 分 29 秒 1572。日本経緯度原点は東京都港区麻布台 2 丁目 18 番 1 地内である。北に行けば緯度は大きくなり南に行くと緯度は小さくなる。札幌の朝は早く福岡は遅い。地球は 23.43 度傾いている太陽を回っている。90 度 - 23.4 度ということで北緯 66.6 度以北と南緯 66.6 度以南では、一日中太陽が沈まない白夜や一日中太陽が昇らない極夜

を生じる。

日本の四季は緯度と経度をもたらす。白夜と極夜のある地域では夏至の日に「夏至祭」をする。日本は四節季を祝い 24 節季を意識する。新緑が濃さを増すようになると稲はお日さまのぬくもりで丈を延ばす。

地軸は大きな地震でわずかに動く。東日本大地震によっても動いた。公転時間が少し変わった。地球の回転は独楽(コマ)と同じであるから揺れている。歳差運動によって地軸が動く。ときに地軸がひっくり返る。磁気の方角などに痕跡が残る。

夏に向かう日本の気候は日本に住む人々を包む。一番遅くに広がる上高地の緑で春を確かめる。

(文章と写真は旅行家甲斐鐵太郎)

2019年 謹賀新年

謹賀新年 2019年

一芸を極めて世界に挑戦

長野計器は独創の圧力技術で豊かな未来を開きます

古来、人類は自然の恵みである大気圧や水圧を巧みに使いこなしてきました。それが今日の圧力を多彩に利用する産業と暮らしの原点ではないでしょうか。長野計器はこうした圧力技術に特化した世界的な専門メーカーです。独創的な圧力センサや圧力計の開発を通じて、人と自然がやさしく共生する社会づくりを支えていきたいと願っています。



長野計器本社 (東京)



上田計測機器工場 (長野)



丸子電子機器工場 (長野)



Ashcroft Inc.(アメリカ)



JADE Sensortechnik GmbH (ドイツ)



本社 / 〒143-8544 東京都大田区東馬込 1-30-4 TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320
http://www.naganokeiki.co.jp/ お問い合わせはフリーコール / 0120-10-8790

